

田島祇園祭屋台歌舞伎 特別舞台公演

第一部 時津風日乃出松 ～鳴山城内の場～



①戦の勝利を喜ぶ鳴山城主長沼盛秀と家臣たち ②宴の準備をする腰元たち
 ③和睦を持ちかける伊達家家臣の片倉小十郎と佐馬之助
 ④芸を披露する長沼家家臣と腰元 ⑤鳴物を担当した子どもたち
 ⑥父の切腹を目にした一若 ⑦⑧義太夫節を披露した子どもたち
 ⑨隼人之助の死を弔う一同 ⑩⑪⑫舞を披露する伊達家家臣たち
 ⑬見事な掛け合いを披露した長沼家家臣と腰元たち
 ⑭舞台上演には欠かせない黒子、狂言方、ツケ打ちを務めた子どもたち



12月10日、田島祇園祭屋台歌舞伎の第11回特別舞台公演が開催されました。

第一部は、9月初め頃から稽古に取り組んできた田島小学校3年生が、田島地区にある鳴山城を舞台に、長沼家と伊達家を描いた物語「時津風日乃出松」鳴山城内の場」を上演しました。

第二部は、歌舞伎保存会の小学4年生から中学2年生の子どもたちによる、赤穂浪士の仇討を脚色した「仮名手本忠臣蔵七段目」祇園一力茶屋の場」を上演。

そして、第三部は同保存会の小学5年生の義太夫と中学2年生から大人の役者たちによる、明智光秀が謀反を起こし自刃するまでを描いた「絵本太功記十段目」尼ヶ崎庵室の場」を上演しました。

艶やかな着物をまとった役者たちが、義太夫節やツケに合わせ、本格的な見得を披露。訪れた観客たちからは、盛大な拍手が送られました。

田島祇園祭屋台歌舞伎保存会
と伝統継承のために

田島祇園祭屋台歌舞伎は、江戸時代末期から明治の初め頃まで子どもたちによって演じられてきました。しかし、明治6年に制定された学制により、子どもたちによる上演は一旦途絶えました。

平成4年から、子ども歌舞伎を復活させようという機運が高まり、町民有志により「田島祇園祭屋台歌舞伎保存会」が設立され、平成6年から子ども歌舞伎の上演が再開されました。

設立から30年が経過した現在も地元を舞台とした演目を大切に上演しています。

また、平成22年からは、田島小学校3年生を対象にプロを指導者に招き、歌舞伎体験をする取り組みが続けられています。平成25年からは、特別舞台公演と銘を打ち、子どもたちの発表の舞台として本公演を開催しています。



当保存会は、平成4年に発足してから昨年で30年が経過しました。発足当時の会長を務めておりましたが、私の父でございます。その後も、馬場俊吉先生が会長を務められ、毎年田島祇園祭で屋台歌舞伎を上演し、外部公演も多数お声をかけていただきました。平成23年には、後継者や指導者育成を目標に、大人の部門も立ち上げました。新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい始めた最近でも、対策を講じながら何とか活動を継続することが出来ました。改めまして、稽古をつけてくださる先生方、送り迎えや化粧、着付けにご協力いただいております。保護者の皆さま、地元の伝統芸能の継承にご理解とご協力をいただいております。関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。現在は、田島小学校以外の町立小学校へも歌舞伎体験教室に向向く等、少しでも地元の歌舞伎という宝物の魅力を広めようとしております。当然、経験の有無、住所地等を問わず、どなたでもこの屋台歌舞伎保存会の活動に参加出来ますので、お気軽にお問い合わせください。幸いです。



会長 猪股 純一 さん



- ①遊び惚ける大星由良之助とそれを咎める赤穂浪士
- ②一芸を披露する仲居たち
- ③妹・おかるを切り由良之助に忠誠を尽くそうとする寺岡平右衛門
- ④父・由良之助に密書を届ける大星力弥
- ⑤密書を盗み見ようとする斧九太夫
- ⑥動きに合わせてツケを入れるツケ打ち
- ⑦裏切った斧九太夫を捉える寺岡平右衛門

第二部

仮名手本忠臣蔵七段目

〜祇園一力茶屋の場〜

田島祇園祭屋台歌舞伎保存会のメンバー紹介

第二部 大星由良之助役 柳沼 紀之 さん



3年生の時の総合的な学習の時間で体験した舞台歌舞伎で、大きな声を出して演じ、お客さんに大きな拍手をいただいたことが嬉しくて保存会でも活動を続けています。

今回の公演では、第2部で大星由良之助を演じました。長いセリフが多く大変でしたが、稽古をつけてくれる先生方や、小道具などを準備してくれる方、着付けや化粧をしてくれる方々のおかげで無事に演じることができました。

全く違う自分に変身することができることに魅力を感じ、小学校6年生から、保存会での活動を続けています。現在は、子どもたちへの指導に携わるとともに、役者としても舞台上に立ち、今年は初めての女形にも挑戦しました。保存会では、全員で感動してもらえるような舞台をつくることを目標に、楽しく一丸となって活動しています。本物の衣装をまとった子どもたちが大人顔負けの演技でお客様を魅了する姿は何度見ても感動します。

第三部 操役 河原田 慎 さん



田島祇園祭屋台歌舞伎保存会の新メンバーを募集!

今後も会津田島祇園祭での屋台歌舞伎の保存、伝承のために、来年度に向けた新メンバーを募集しています。参加は無料で、年齢、経験、住所地などは問いません。また、単年度の参加も可能ですので、お気軽にお問い合わせください。なお、御蔵入交流館で1月31日まで写真展開催中です。

【稽古について】

祇園祭に向け5月から稽古開始

回数 週1回程度

曜日 応相談

時間 午後7時～8時半まで

場所 御蔵入交流館

【問合せ】 生涯学習課 芸術文化係 電話 0241-62-6311



第三部

絵本太功記十段目

〜尼ヶ崎庵室の場〜



- ①義太夫を務めた児童
- ②十次郎(明智光秀の息子)の出立を見送る母・操と許嫁・初菊
- ③誤って母・臯月をさしてしまった武智光秀(明智光秀)
- ④許嫁・初菊の制止を振り切り、戦へ出陣する武智光義
- ⑤真柴久吉(豊臣秀吉)の家臣・佐藤正清
- ⑥武智光秀に戦を持ちかける真柴久吉